

## PIANC アジアセミナー2024を開催

令和6年10月28日、日本部会主催によりPIANC アジアセミナー2024を開催いたしました。本セミナーは、アジアの技術者や研究者を主な聴講者の対象としつつ、アジア域外からも広く参加が可能なウェビナー形式で実施しているものです。今回で4年目となる本年は、港湾などの水上交通インフラに係る重要な課題である「沿岸域の軟弱地盤対策」をとりあげアジアの第一級の研究者・専門家4名による講演としました。

開催にあたっては、国土交通省、水産庁、国際協力機構より後援をいただき、26か国・地域から約350名の参加がありました。海外からの参加者は約210名（主な参加国・地域：インドネシア、シンガポール、フィリピン、香港、カンボジア、マレーシア、ミャンマー）となり、国際的な技術情報の発信として大きな成果を上げました。

### セミナー実施概要

日時 10月28日（月）15:30～18:00

#### -開会宣言

国際航路協会日本部会 (PIANC-Japan) 会長 栗山 善昭

#### -開会挨拶

国土交通省大臣官房技術参事官 安部 賢

#### -PIANC会長からのビデオメッセージ

PIANC会長 フランシスコ・エステバン・レフラー

安部 技術参事官



栗山  
PIANC-Japan会長



エステバン PIANC会長



#### -講演セッション

##### モデレーター 兼 講師

北海道大学教授 渡部 要一

演題「軟弱地盤の地盤改良法：沿岸開発における日本の経験」

- ・地盤改良技術
  - \*せん断強さの増加（安定問題）
  - \*圧縮性の低下（沈下問題）
  - \*固化・軽量化（安定問題）
  - \*液状化抵抗の増加（地震防災）
- ・地盤改良技術の統合化（羽田空港D滑走路の例）

渡部 要一氏



## 講師

シンガポール ナンヤン工科大学教授 ジェン・チュー

### 演題「軟弱粘性土の埋立土の地盤改良としての短PVD工法と水平排水補強ジオテキスタイル(HDeG)工法」

- ・軟弱粘性土の埋立地改良工法
  - \*短PVD(Short Plastic Vertical Drain)工法+真空プレローディング工法
  - \*水平排水補強ジオテキスタイル(HDeG)シート工法



ジェン・チュー氏

## 講師

(株)不動産トラ米国現地法人社長CEO 野津 光夫

### 演題「先進的な地盤改良技術と沿岸域における適用」

- ・先進的な地盤改良技術
  - \*深層混合処理のアップデート、高度な設計、品質管理
- ・沿岸域における適用
  - \*沖合での深層混合処理/有機質土/膨張性土

野津 光夫氏



## 講師

(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル  
プロジェクト・マネージャー レ・プオン・ドン

### 演題「パティンバン海成粘性土の特性と同港整備事業における地盤改良技術」

- ・パティンバン海成粘性土
- ・CDM工法, CPM工法
- ・竹杭基礎工法

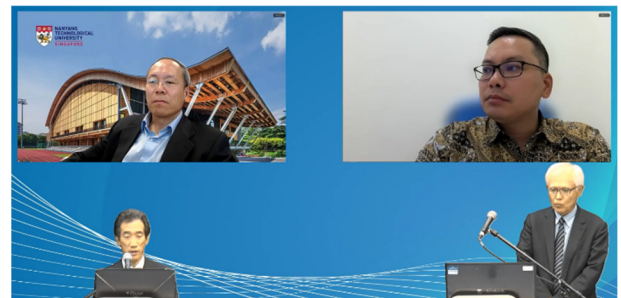
レ・プオン・ドン 氏



## -質疑応答セッション

全講演終了後の質疑応答セッションでは、渡部モデレーターのもと、地盤改良工法の違いによる圧密沈下量や改良強度及びコストなどの差、セメント混合系の地盤改良時の環境配慮、竹杭工法の適用範囲などに関する質疑応答がありました。

なお、本セミナーの講演資料及び、質疑応答セッションの時間内に回答できなかったものを含む質疑応答一覧は、後日、日本部会の会員ページに掲載いたします。



## -開会挨拶

水産庁漁港漁場整備部事業課長 渡邊 浩二

また、栗山会長より各講師に対し記念の盾を贈呈いたしました。

渡邊事業課長



## 企画準備及び当日の運営について

モデレーター及び講師を務めていただいた北海道大学の渡部要一教授には、準備段階から当日の進行・ご講演まで含めて大変なご尽力をいただきました。ほか3名の講師の方々にも資料準備や当日のご講演に貴重なお時間を割いていただきました。

また、準備・運営にあたっては、国土交通省港湾局、水産庁漁港漁場整備部、国土総合技術政策研究所、港湾空港技術研究所、日建工学（株）などPIANC日本部会の関係者の方々に大変お世話になりました。

皆様に深く感謝いたします。

当日のスタジオ運営の様子



渡部講師・野津講師と栗山会長・準備運営メンバー

